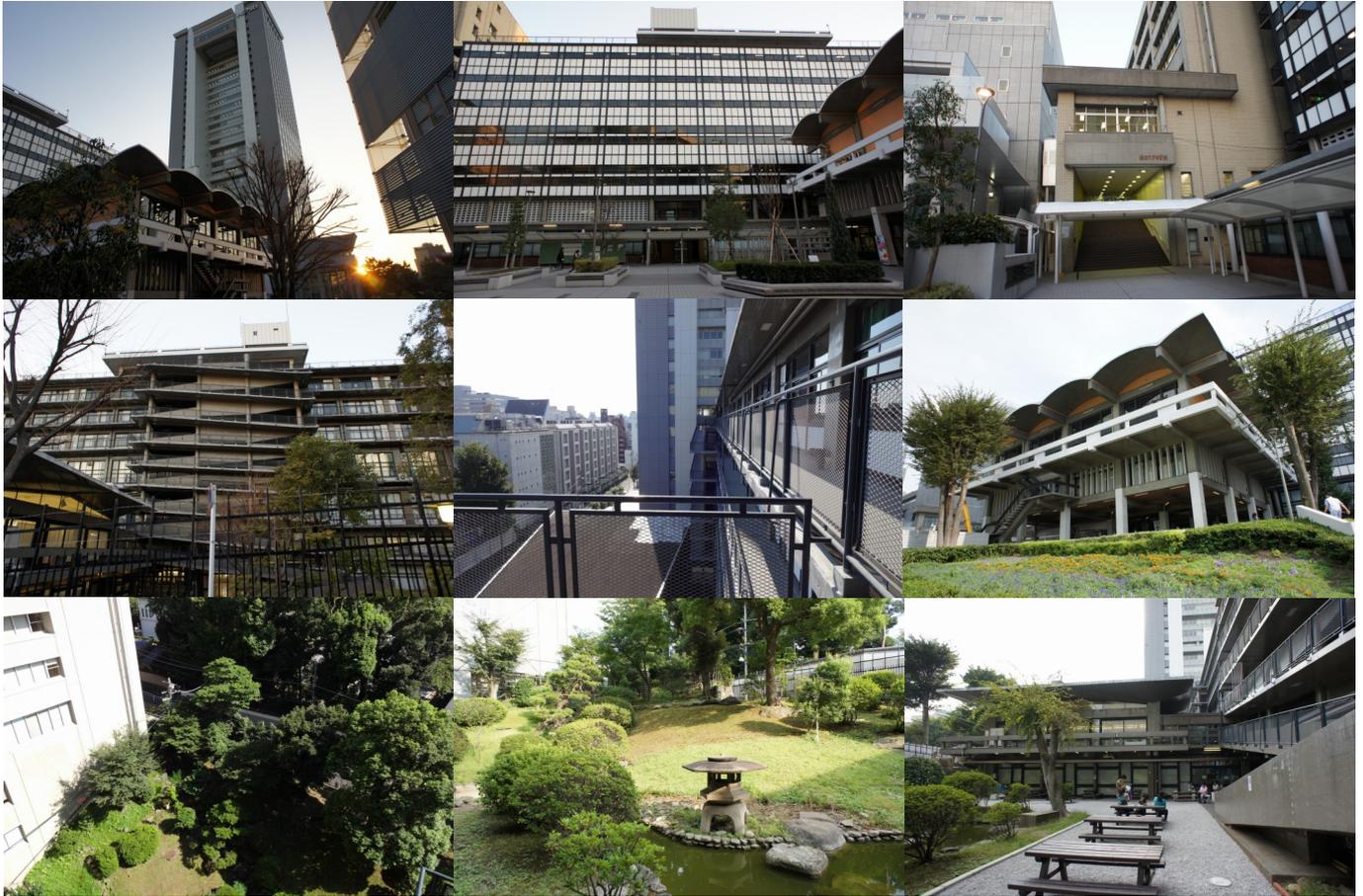


公認会計士法友会会報

公認会計士法友会

第30号

令和3年7月発行



令和2年度定期総会・研修会・懇親会中止のお知らせ

例年、7月に定期総会、研修会、懇親会を開催しておりますが、昨今の新型コロナウイルスの感染状況を鑑みて、本年度も集まっての定期総会、会員研修会、懇親会の開催を中止することにいたしました。

目次

会長挨拶	2	校友会終身会員新規登録者(所属変更を含む)	5
雑感	4	令和2年度公認会計士試験合格者の近況	6
「法政士業の会」便り	5	令和2年度定期総会報告	8
会費等納入の御礼	5	編集後記	9

同封物:会報、郵便口座振替用紙

会長挨拶

会長 太田 莊一(昭和52年卒)



盛夏の候、なかなかコロナ禍の終息が見えてきませんが、公認会計士法友会の会員の皆様におかれましては、益々ご活躍のことと存じます。

このような状況にもかかわらず、全国の会員の皆様から、本年度も会費・寄付金のご芳志を賜りまして、誠にありがとうございます。会員諸氏の多大なるご支援に本当に感謝に堪えません。

おかげ様をもちまして、法政大学の内外における公認会計士法友会のプレゼンスを何とか維持できているのも、会員の皆様方のご賛同とご協力の賜物であると、役員一同を代表いたしまして、深く感謝申し上げます。

法友会の目的である『会員の相互交流・親睦を深めるとともに、母校の発展と後進の育成に貢献する』に基づき、新しい若い世代の会員への橋渡し役になるべく、河西事務局長はじめとする役員の方々の精力的な対応とご尽力を受けながら、なんとか会長を務めさせていただいております。

現体制で7年目に入りますが、役員全員に再任をお願いしております。今後とも引き続き、会員の皆様からのご指導ご鞭撻のほど、なにとぞお願い申し上げます。

昨年度より引き続き、新型コロナ感染防止対応のため、会合等の開催は自粛せざるをえない状況にあり、法友会の目的である「会員の相互親睦」という点では、対面での交流の機会がなくなっておりますが、そんな中でも、役員会はWebオンライン会議を利用しての役員間でPC画面を通じてコミュニケーションをとっており、また、定期総会の書面議案に対しては、全国の多くの会員諸氏よりメール返答をいただき、ネット上でのコミュニケーションを深めさせていただいております。会員諸氏におかれましてはご理解ご協力ありがとうございました。

今回も、この半年間の法友会活動についてのご報告を中心に、今後の方針や近況を紹介させていただきたいと思っております。

【令和2年度公認会計士試験の合格状況について】

令和3年2月に令和2年度の公認会計士試験の最終合格者が発表され、今回の法政大学からの合格者は、42名(現役学生24名、卒業生18名)と、全国大学ランキングは第9位で前年度と同様、トップ10を維持しています。他の有力上位校が合格者数減となる中を、前年度比8名増となったことは特筆すべきであり、指導にあられた先生方や高度会計人育成センターの関係者のご尽力と合格者の皆さんの努力の賜物かと思えます。今後益々の合格者の増加が期待でき、来年度以降もさらに上位を目指していただきたいと思います。

前号の会報でご報告のとおり、今回、合格祝賀会は、コロナ禍の状況に鑑みて、開催を見送らせていただきましたが、合格者に対しては、当会からのお祝い品と共に、田中優子前法政大学総長からのご祝詞のビデオメッセージを送らせていただきました。(後掲の「編集後記」ご参照。)

今年度の公認会計士試験合格祝賀会の開催につきましては、今後の状況次第ですが、対面による開催(令和4年1月29日(土))を予定しております。

その際には是非とも多数の会員の皆様のご出席され、合格者の門出をお祝いし、激励し、また多くの先輩、同輩、後輩との交流懇親をはかられることを期待いたします。

【本学受験生への「奨学支援金」について】

法友会として、現在、特に注力している活動といたしましては、会員の皆様からのご寄付浄財をいかにして拡充し、後進の育成のために活用していくかという課題に対する対応です。

5年前に制度創設し給付を継続しております本学学生に対する公認会計士試験受験のための「奨学支援金制度」につきましては、嬉しいことに、その成果が年々目に見えております。

【法友会「奨学支援金」制度の概要と実績】

・給付資格

毎年の学内簿記チャンピオン大会成績優秀者に受給資格証を付与し、短答式受験を条件に、使途を専門学校の受講費充当に限定して5万円を給付するもの。

令和2年度公認会計士試験 出身大学別合格者数(トップ10)

1位(1) 慶応義塾大学	169 (183)	6位(5) 東京大学	49 (40)
2位(2) 早稲田大学	98 (105)	7位(8) 神戸大学	47 (36)
3位(4) 中央大学	74 (71)	8位(6) 京都大学	43 (38)
4位(3) 明治大学	60 (81)	9位(9) 法政大学	42 (34)
5位(6) 立命館大学	52 (38)	10位(12) 同志社大学	34 (29)

()は前年度順位及び人数

他大学の人数は日本公認会計士協会提供データを基に当会にて調査

・付与実績

2017年度6名、2018年度7名、2019年度6名、2020年度3名

・給付実績

2016年度2名、2017年度5名、2018年度5名、2019年度2名

・受給者の合格実績

2018年最終合格者2名、2019年最終合格者4名、2020年最終合格者3名ということで、受給した学生の実績は益々増加しています。

今年度は表彰式と懇親会は中止されましたが、成績優秀者3名に受給資格証を郵送で授与しております。

法友会としては、これを継続し、さらに拡充したものにしていきたいと考えております。このための原資として会員の皆様方からのご寄付浄財が不可欠でありますので、なにとぞご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【母校の発展のための大学及び校友会への積極的参画について】

法政大学校友会が本年1月にオンラインで開催されました「オール法政新年を祝う会」には、当会からも会員有志が多数オンライン参加し、公認会計士法友会としても協賛を行いました。（開催の様子は、法政大学校友会のホームページをご覧ください。）賛同いただきました会員諸氏にはご協力ありがとうございました。

なお、当会からの校友会終身会員登録（3月末現在116名）の拡充促進については、本年度においても引き続き、若手会員の年度同期会からパートナー組織（当会）への所属変更の働きかけを中心に積極的に推進したいと考えております。会員各位におかれましてはご協力のほどよろしくお願いいたします。

【学校法人法政大学の近況報告】

令和2年度に学校法人法政大学の役員の改選があり、通算二期7年在任された田中優子総長が今年度末で退任（法政大学名誉教授）され、新総長は常務理事の廣瀬克哉氏（法学部教授）が就任されました。

田中優子前総長には、公認会計士試験合格祝賀会には毎年ご臨席の上ご祝詞を賜り、公認会計士の社会的役割にもご理解を示され、また本学の女性合格者の増加にもお氣遣いをいただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

理事も新体制となりましたが、卒業生理事の一人として法政士業の会事務局長の菊池由美子氏が選任されました。監事は、選考委員会からの推薦により常勤監事の選任と非常勤監事は私も含め全員が再任されました。

法政大学は、これまでのような多くの志願者による学生納付金収入の増収は、コロナの影響等もあり、厳しいものとみられており、また、新学部等の拡充や市ヶ谷キャンパスを中心とした新校舎建替等の大規模投資も一段落したところで、今後はいかに教育の質の向上を図りつつ財政規模を縮減維持していくかにかかっているものと考えられます。

私自身、この4年間の経験も踏まえて、公認会計士たる監

事として、更に母校の健全な発展のために尽力したいと思います。今後もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

なお、評議員も改選となりましたが、法政士業の会会長の金子征史先生（有識者評議員再任）に加えて、卒業生評議員に山崎雅彦氏（法政大学法曹会）が選任され、当会の矢部豊副会長が、今年度をもって評議員の任期満了となりました。長い間、お疲れ様でした。

退任評議員は、お一人ずつ田中総長と廣瀬新総長との記念撮影がありました。私が撮影したもので恐縮ですが、掲載します。



さて、2021年度の法政大学の入学式は、十分な感染防止対策をしたうえで、4月3日に日本武道館に於いて、新入生だけが厳しい入場チェック、間隔を置いて整然と着席し、ご家族はオンライン中継という形で開催されました。さらに、昨年4月に入学式もなくキャンパスにもほとんど行けなかった新二年生に対しても1年遅れの入学式が実施されました。恒例の応援団・チアリーダーによる演舞は全員がマスクをしての熱演でした。締めめの校歌も斉唱ではなく、ブラスバンド部の演奏を全員が心の中で謳いました。「良き師良き友、集い結べり」と。

廣瀬新総長から、今後も感染拡大防止のために行動に制約がある中での学生生活になるが、学生に限らず、我々人類は種々の制約のある中でどうすればそれを乗り越えることができるかを考えて行動してきたことを思い起こしてほしいという訓示がありましたが、我々法友会の活動も、この制約された中で何ができるか、今後如何にすればよいかを考えていく必要があります。

コロナ禍で会計士業界も対応が難しい状況にありますが、この逆境を好機にして、法政大学からさらに多くの公認会計士を輩出し、将来のある若い皆さんが活き活きとして集い結べる業界・魅力ある士業となるよう、法友会としてもまだまだやることはたくさんあります。

フレー！フレー！法政、がんばれー！がんばれー！新入生と新二年生

以上

雑感

高橋 翔太(平成19年卒)

法友会の皆様、初めまして！2007年卒業で現在、PwC中国パートナーを務める高橋翔太と申します。

まず、簡単に自己紹介させていただきます。私は大学1年から法政大学が運営する公認会計講座を受講し、2005年公認会計士2次試験合格後、あずさ監査法人、あらた監査法人に勤務し、法定/IFRS監査、財務デュー・デリジェンス、IPO支援業務等に従事していました。2012年からのPwCジャカルタオフィス勤務を経て、2013年からPwC中国、上海事務所の日本企業事業開発部に所属しています。主にリスクアシュアランスを担当しており、不正調査、内部監査や内部統制評価支援業務、企業システム/デジタル化ソリューション等のサービスを提供しています。

今回はこの会報にて法友会の皆様に対して情報発信する貴重な機会を頂きましたので海外メンバーファームでの仕事内容や、海外での生活について私の雑感を少し共有させていただければと考えています。

海外メンバーファームでの仕事について

PwC中国の従業員は約16,000人で、その内日本人は55名ほどであり、圧倒的マイノリティーとなっています。ほぼすべての日本人が日本企業事業開発部に属しており、その主な業務は在中国の日本企業に対する監査やコンサルティング業務の事業開発、サービス提供となります。現地採用とPwCの日本人からの出向者が多数所属しています。

私たちは日本企業向けにサービス提供を行っていますので、クライアントは基本的に日本企業の管理層であり、日本語でのやり取りがメインになりますが、社内においては英語や中国語を使いながらコミュニケーションを取り、業務を進めています。言葉の違いだけではなく、クライアントとチームの文化の違いから生じるミスコミュニケーションや価値観/期待値の違いなど、海外の仕事では日本では考えられない様々な課題が次々と出てきますので、そこを解決しながらクライアントに対して満足度の高いサービスを提供するのはなかなかやりのある仕事だと思っています。

PwC中国は中国公認会計士協会が選ぶ会計士事務所ランキングにおいて19年連続でトップを獲得しており、事業規模でも中国最大であり、中国全土から優秀な人材も集まってきます。従来型のサービスに関する知識はもちろんのこと、デジタルや最新技術に関する知識も多く集まっており、とても刺激的で学びの多い職場です。周りの優秀な同僚とともに中国の日本企業向けへのサービスをさらに拡大していくことをミッションに日々努力を続けています。



(PwC中国の同僚と記念撮影。向かって右からPwC北京事務

所の公認会計士渡辺さん(法政大学OB)、高橋忠利日本企業部統括代表パートナー、私、PwC上海事務所の吉野さん(法政大学OB)です。この雑感を書いている6月末の写真で、自身のパートナー昇進パーティーでのものになります。)

海外(中国上海)生活について

私は上海で生活を始めて8年目になります。上海に移り住んだ当初は、日本のものも手に入りづらいので中国での生活は少し大変だなと感じていました。しかし、この数年間で生活の中のあらゆる事のIT化が日本以上に進んでおり、大変便利になっています。買い物のデリバリー、タクシー、支払/送金等ありとあらゆるものがスマートフォン1つで済む社会になっていますし、その様な機能の生活への浸透度は相当高くなっています。最近はQOLを上げるような製品を中国のタオバオというオンラインショッピングサイトで探すことにはまっています。世界の工場と言われた中国だけあって、ありとあらゆるものが買えますし、同じような製品でも選択肢が無数にあり、その中からいい製品を発見できた時の達成感は格別です(笑)。

中国での生活で感じることは、中国の成長スピードは一時期よりも落ち着いてはいるものの、まだまだ成長の余地はあるということです。生活の中や仕事においてもその経済発展の勢いを感じる事が出来ています。そんな刺激的な環境で仕事が出来ることにとっても満足しています。会計士の世界においては海外志向が強い方は多くは無いのかもしれませんが、一度踏み出し日本以外の外の経験を積んでみることで、外から日本を覗いてみることはとてもお勧めです。機会があれば私の経験を基にアドバイスさせていただきますので、お気軽にご連絡ください！そういった方を応援させていただきます。



(上海の金融街の夜景です。発展のスピードは日本とは桁違いで、まだまだ勢いを感じます。)

今までなかなか法友会との接点を持てていませんでしたが、これを機に法友会の皆さんとの交流や、活動目的の一つである法政大学への貢献といったことにも積極的に参加していきたいと思っています。新型コロナがまだまだ落ち着かず、日本へ戻って直接お会いすることは出来ませんが、今回のような機会を通じて皆様とつながることが出来ればと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

法政士業の会便り

小場貴之（昭和63年卒）

東京六大学野球春季リーグ戦は4勝5敗、1分けで4位となりました。残念でしたが、続く秋季リーグ戦に期待しましょう。

1. 法政士業の会の近況

「法政士業の会」は、新型コロナウイルスの影響で役員会の開催も難しく、満足な活動ができない1年となりました。

「法政士業の会」は会則で「定時総会は毎年1回、特別な理由がない限り11月に行う。」と定められておりますが、去年は総会を行わず、9月末で締める年度会計・監査報告を各組織会員に送付するという寂しい結果となりました。

2. 「法政士業の会」のHPについて

「法政士業の会」にはHPがございます。ご興味のある方はぜひご覧ください。HPのアドレスは <https://www.hoseishigyo.net/> になります。「法政士業の会」で検索してもすぐわかると思います。

会費等納入の御礼

令和2年度（2021年3月31日まで）に会費・寄付を頂いた方は以下の通りです。皆様、どうもありがとうございました。

（50音順、敬称略）

青谷 貴典	赤岩 茂	渥美 龍彦	飯塚 昇	五十嵐 正明	石川 正敏	石出 康子
伊藤 章子	井上 倫哉	梅村 一彦	太田 莊一	大野 厚夫	大谷 はるみ	越智 一成
小野 隆良	尾町 雅文	柿沼 幸二	葛西 晋哉	加瀬 兼司	金子 祐大	神谷 佑樹
河合 三彦	河西 正之	北村 敏雄	君和田 和子	草深 文理	倉持 直樹	桑原 正信
神田 忠二郎	古田土 満	小堀 良典	齋藤 太郎	酒井 宏暢	坂下 貴之	島田 幸樹
杉本 喜代美	高橋 和司	高村 茂	竹澤 隆国	武田 知紀	竹部 直一郎	竹村 謙一
館内 宏宣	堤 研一	遠山 景一	富樫 健一	豊島 忠夫	中村 幸信	中山 理恵子
西浦 正和	西澤 利雄	橋爪 宏徳	橋本 美奈子	春山 直輝	福壽 直樹	福山 正啓
藤田 利弘	發知 敏雄	本間 寛	前田 大輔	牧野 智成	松原 恭司郎	三浦 太
森口 輝来	安井 洸治	矢部 豊	山本 成男	吉田 実貴人	和食 克雄	

校友会終身会員新規登録者（所属変更を含む）

令和3年1月以降に年度同期会から所属変更を行っていただいた方はいませんでした。

（敬称略）

該当なし

令和2年度公認会計士試験合格者の近況

合格者の近況を自ら報告していただくコーナーです。

●丹沢祐介（令和2年卒）



1 挨拶

この度、令和2年度公認会計士試験に合格し、法友会に参加することとなりました丹沢祐介です。まずは、多数の素晴らしい先輩方がご在籍されている会に参加できましたこと心より御礼申し上げます。

私も諸先輩方のように社会や世界の役に立てる人間を目指して頑張っていく所存です。何卒ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

2 経歴

私は1985年生まれのアラフォーでございますが、法政大学を卒業しましたのは令和2年4月でございます。少々変わった経歴ですので、簡単に私の経歴をご紹介させていただきます。

私は高校卒業後、国家公務員として17年間勤務してまいりました。国家公務員として駆け上がり行き着いた先が、国家予算を仕切る財務省主計局でした。私は環境省の予算を査定することとなったのですが、当時の環境省は東日本大震災が発生した直後で、復興の最前線として激務でありました。まさにこの国のために全力で生きている官僚たちを目の当たりにし、私の生き方はこれでいいのだろうかと思い悩むようになり、今から全力で頑張ってみよう一念発起し、北海道の国立研究開発法人で働く傍ら、法政大学通信教育部の門を叩いたのが5年前です。約2年で大学の単位をほぼ取得し、すぐさま予備校の門を叩き無事に一発合格できましたことは、妻や子供という守るべきものと心の支えがあったからだと認識しております。

全てが偶然というよりは運命的であり、法政大学があったから今があるといえます。毎年多数の公認会計士試験合格者を輩出する我が校ですが、通信教育部からの合格は珍しいのではないのでしょうか。

3 近況:仕事

現職ですが、有限責任監査法人トーマツの東京事務所に就職し、監査業務とアドバイザリー業務を担当しております。

入社後は2週間ほど社内研修を行いました。その後すぐさま上場企業監査に入り、いわゆる繁忙期を経験いたしました。勤務形態はほぼリモートで、往査は5回程度です。

入社してすぐに自室の仕事を環境を整備することから始めました。ディスプレイは4台購入するなど、多くの資金を要することとなったのは痛いところでした。前職では紙を使って仕事をしておりましたが、パソコンで数字を見比べる作業やリファレンスを飛ばす作業に苦戦しました。紙を使えばどれほど楽かと何度も考えました。

また、リモートでは携帯での会話だけでしたので、コミュニケーションが全く取れず、右も左もわからぬままにただ仕事をしていただけなのは新人には辛いものがありました。

今は監査が落ち着き、これからはアドバイザリー業務に移っていきます。私は同期も6人ほどしかいない、監査とアドバイザリーの50:50の併任ですので、他の同期が閑散期に入っても引き続き気持ちを入れ替えて仕事をする必要があります。これからはアドバイザリー業務をこなす一方で、監査の全体を把握し、計画から意見までの一連の流れを紐解いていきたいと考えております。

思うようにいかない、このようなことで悩む日々ではございますが、悩んでいるということは成長していること、成長していることは私が生涯望むことを実践しているということ、間違っていないと確認しながら日進月歩で乗り越えていきます。

4 近況:家族

私には、妻とかわいい娘が二人おります。上が小学校1年生で下が1歳です。北海道から引っ越しをしてからちょうど2ヶ月になりますが、ようやく引っ越しの段ボール箱も姿を消し、生活にも慣れが見え始めております。

引っ越しをすること、住む場所が変わることは、家族にも相当の負担を強いているのだと今回感じました。ただし、引っ越しをしたくないというわけではなく、転居先が古いので、物音は響きお風呂場はカビだらけであり、家族の総意は引っ越しをしたい、というのが現状でございます。

ひとまずは、納得のできる物件に移住できるだけの職階になることが解決策となるでしょう。

5 近況:自分

私の行動指針は、家族を幸せにし、世界の役に立つことです。

この2ヶ月間勤務して実感したことは、公認会計士という資格はただの資格であり、その資格を持つものだけが経験できることを己が力とし、社会にどう貢献して行くかを考え実践することが大切なのだ、ということです。

そのため、1 今の仕事を精一杯挑むこと、2 プラスαの何かを身につけて行くことが必要と感じました。そうするうちに、ここだ!!!と魂が叫ぶものに会おうのだろうと思います。

このような考えから差し当たり業務外のリソースは補習所を来年12月までに確実に終了させることと英語を2年以内にTOEIC900点以上に習熟させることのために使います。ちなみに今の英語力は皆無です。

6 おわり

私の近況は以上です。最後になりますが、改めて法友会のメンバーとして今後ともよろしく願いいたします。

皆さんにお目にかかれましてこと楽しみにしております。



●若杉七海（4年生在学）



・はじめに

法友会の皆様、いつもお世話になっております。経済学部経済学科の4年生の若杉七海（ワカスギナナミ）と申します。私は大学1年生で公認会計士を目指し、大学3年在学中の令和2年度公認会計士試験に合格することが出来ました。現在は、有限責任監査法人トーマツで学生非常勤として働きつつ、予備校のチューターや採点業務にも携わっております。

・公認会計士を目指したきっかけ

私がこの勉強を始めたのは法政大学主催のHAAP簿記講座がきっかけでした。

大学生で簿記の資格を取っていると就活に有利と聞いていたの、はじめは二級を取得することを目標にしていました。

しかし、勉強を始めてみると会計の仕組みや新しい知識が得られることに楽しさを覚え、自分の力で財務諸表が読めるようになっていきました。また、授業の合間に先生方から公認会計士の魅力や体験談を聞き、公認会計士という職業に憧れを抱いたのも目指した理由の1つであります。

そこで、大学1年生の冬に両親に目指したい意思を伝え、公認会計士試験に挑戦することにしました。

・受験生活

今考えてみれば私の受験生活は決して、順風満帆なものではありませんでした。

コロナウイルスの影響で、普段使用していた自習室が閉鎖され、論文式試験が延期されました。本番の試験が3か月延期されると聞き、当時の私は弛んでしまいました。

久しぶりに再開された校舎で模試を受けてみると、全国模試では「E判定」という結果でした。受験本番まで残り3か月という時期にこのままではまずいと思い、気持ちを入れ替えて勉強を再開しました。

そして、試験当日には最高のコンディションで試験に臨むことが出来ました。

そんな私をいつも支えてくれたのは、いつも勉強仲間でした。分からない問題を教え合ったり、成績が良くないときにはアドバイスをくれたり、コロナで会えないときにはアプリを使ってお互いに勉強報告をしていました。

今振り返ると、家族や勉強仲間、講師の方々、法政大学の関係者の方など周りの人に支えられて合格出来たと感じております。

・監査法人での業務

入社して約4ヶ月が経ち、上場会社含め3社経験させていただきました。

期末監査を体験してみて思ったことは、監査業務はチームプレーだということです。私が経験したのは現預金・借入金などの比較的分かりやすい勘定科目や、開示チェックが中心でした。ですが、自分が困っているときには先輩方に助けていただいたりと、チームで協力して期末監査を乗り越えることが出来ました。

コロナウイルスの影響で現場往査や出社の機会は少ないですが、ニューノーマルな時代での働き方に新鮮さを覚えております。まだまだ未熟な部分が多いですが、日々努力を重ね成長していきたいと考えております。

・プライベートの過ごし方

先日、当時の勉強仲間とディズニーシーへ行ってきました。彼女は別の監査法人に勤めていますが、今でも大切な友人の1人です。

大学生の間に遠出や旅行にも行きたいのですが、コロナウイルスの影響であまり計画も立てられず残念です。ですが、近場や日帰りでお気に入りの観光スポットを見つけるのも、案外楽しいです。最近はアウトドアの登山やスポーツ観戦にも興味があります。繁忙期も落ち着いたのでゴルフ等、新たな趣味も発見してみたいと考えております。

・今後チャレンジしていきたいこと

現在は監査法人で日本基準の企業のチームに所属させていただいておりますが、もともと英語が好きなので今後はIFRS適用会社の監査や、リファーマル業務といった英語を頻繁に使うグローバル業務にも挑戦していきたいと考えています。

また、私の所属する監査法人はSDGS～持続可能な開発目標～に対する取り組みを強化しているので、私も今後日本のみならず、世界に目を向けていきたいと思っております。

そのためにまずは英語の学力を強化して、自分のスキルアップを図っていきたくと考えております。

・さいごに

法友会の皆様、先日はお祝いの記念品を贈呈していただき、誠にありがとうございました。例年は合格祝賀会が開催され、皆様にご挨拶できるのですが、直接ご挨拶が出来ずとても残念に思います。

来年は法政大学の卒業生として胸を張っていけるよう、残りの学生生活も多くのことを学んでいきたいと考えております。

コロナウイルスの感染状況が落ち着きましたら、法友会の皆様と直接お会いできる日を楽しみにしております。





令和2年度定期総会報告

事務局より

昨今の新型コロナウイルスの感染状況を鑑みて、本年度も集まっの定期総会、会員研修会、懇親会の開催を中止することにいたしました。しかし、会則第16条では年1回総会を開催することとしていますし、新年度の活動方針や予算の承認を得ないと活動ができませんので、書面での審議を行うことにいたしました。

令和3年6月9日にメールアドレスを把握している会員に、報告事項、審議事項を記載した書面を開示し、意見を6月18日まで求めました。結果、反対意見は寄せられなかったため、賛成多数とみなしました。

以下に概要を報告いたします。

1.会員数の推移

過去7年間の会員数は以下の通りですが、公認会計士法友会に参加の意思を表示しない・参加しないと意思を表示した人は累計で123名になっています。若手会員の活動をより活性化して周知し、参加を促す必要があります。

H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
667	683	699	720	715	740	762	759人

なお、令和2年度の公認会計士試験合格者のうち、法友会に加入の意思を表明した人は、令和3年5月31日現在で7名であり、上記の人数には含まれていません。

2.後進の育成のための高度会計人育成センターとの連携

「会長挨拶」をご覧ください。

3.会費納入状況について

多くの会員の皆様から、年度会費、年度寄付金のご協力をいただきました。誠にありがとうございます。

(単位:千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
会費・寄付金総額	2,411	2,306	2,253	2,944	1,505
終身会員登録会費	—	—	—	△940	—
差引	2,411	2,306	2,253	2,004	1,505
支出	2,336	2,043	2,069	1,949	1,047
収支差	85	263	184	55	457

校友会の終身会員登録のために、特別に寄付をお願いした影響を除くと、年平均2,000千円の会費等を納入いただいています。今年度は、定期総会、合格祝賀会を開催できない状況ではありましたが、会員の皆様から多額の会費・寄付をいただきました。ありがとうございます。

また、新型コロナウイルスの影響により、集まっのイベントが軒並み中止となったことをうけ、収支差はかなり改善されました。

しかし、今後も、奨学支援金支出の増加、合格者の増加等に対し、経費支出を抑え、収支差を均衡させていきますが、財政は厳しい状態となることが想定されます。

引き続き、より多くの会員の方からの会費の納入と経費削減を合わせて行い、収支差を改善する必要があると考えています。

4.決算・予算概要

①収入実績

今年度は、新型コロナウイルスの影響により、定期総会、合格祝賀会は開催できなかったため、参加費による収入はゼロとなりましたが、会員の皆様から多額の会費・寄付をいただきました。ありがとうございます。

②支出実績

総会・祝賀会開催費用は、合格者が予算作成時の想定より増えたことと、前田中優子総長と太田会長による祝辞を合格者に伝えるためにビデオメッセージを作成することとしたものの、総会・祝賀会そのものは開催しなかったため、全体では予算比減となりました。

奨学支援金は、当初見込んだ人数よりも申し込みをする学生が少なかったことによるものです。

また、その他のうち、他大学の公認会計士会等への参加は、新型コロナウイルスの影響により、開催が中止となったことにより、支出実績はゼロとなりました。

これらの結果、収支差額は457千円のプラスとなり、資金残高は2,532千円となりました。なお、未払金は、当年度の費用ではあるものの、決算日までに精算が間に合わなかったことから、役員が立て替えているものです。

③予算概要

今年度は定期総会を開催しないこととしたため、定期総会時の参加費収入・関連支出を計上しておりませんが、合格祝賀会は開催を予定しているため、関連する収入・費用を計上しています。

昨年の校友会寄付金の残金を活用して、校友会終身会員登録を若干名行う予定です。

5.役員再任

役員の改選期にあたるため、役員を選任(全員留任)を行いました。

決算・予算概要(単位:千円)	R2年度予算	R2年度実績	R3年度予算
会費・寄付金	1,970	1,355	1,900
校友会より	600	690	450
収入合計	2,570	2,045	2,350
総会・祝賀会開催費用	1,380	931	1,530
終身会員登録	210	—	210
奨学支援金	400	100	350
その他	895	556	560
支出合計	2,885	1,587	2,650
収支差	△315	457	△300
前期繰越	1,641	1,641	2,532
未払金	—	434	△434
次期繰越	1,326	2,532	1,798

以上

公認会計士法友会事務局
〒169-0074
東京都新宿区北新宿4-19-15 正和ハイツ

E-mail: hosei.hoyukai@gmail.com

母校の発展と後進育成への貢献を
目指して活動しています。

6月末現在の会員数 759名

ホームページもご覧下さい。
<http://hoyukai.la.coocan.jp/>



編集後記

2020年度の公認会計士試験の合格発表が2月16日に行われ、在学生24名、卒業生18名、合計42名の方が合格しました。合格者の方には、公認会計士法友会から記念品を送りました。また、在学生には法政大学後援会から後援会賞が、卒業生には法政大学校友会から校友会賞が、送られました。

法友会としては、これに加えて、合格者に向けた、前田中総長と太田会長からの祝いメッセージをビデオにて合格者へ届けました。



総長祝辞



会長の祝辞

今後のイベント予定

皆さん、ご予約ください。

- ・公認会計士試験合格祝賀会 令和4年(2022年)1月29日(土)
- ・オール法政新年を祝う会 令和4年(2022年)1月30日(日)

令和3年度(令和3年4月1日～令和4年3月31日) 年度会費及び寄付金のご協力のお願い

法友会活動は会員の皆様からの会費及び寄付金で賄われておりますが、合格祝賀会などの行事開催費、通信費などの運営諸経費、友好他大会計士会団体への参加費等の支出、また最近では、法政大学の公認会計士試験現役受験生の合格を支援する「奨学支援金」の原資として経常的な資金が必要であり、会員各位のご理解とご協力なくしては、持続的な活動が出来ません。

最近、会費及び寄付金を納めていただける方が固定化し、また、減少傾向にあります。一方、会員の増加で定期総会や合格祝賀会のご案内にかかる通信費の増大や「奨学支援金」の拡充等も必要となっております。会員の皆様のご理解とご協力を強くお願いする次第です。

今年度(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)会費の納入と寄付金のお願いをさせていただきたく、郵便振替口座振込用紙を同封させていただきました。

毎年の年度会費及び年度寄付金に、いったいいくら納入すればよいのか分からないなどのご意見・質問が寄せられます。法友会活動は会員の皆様からの会費及び寄付金の納入で支えられていますが、皆様に大きな負担を感じさせるのは本意ではありません。あくまでも会員の皆様のご厚意をお願いするものであります。

年度会費を納入されていない方につきましては、年度会費の5,000円だけでも結構ですし、年度寄付金・奨学支援金等の寄付金として10,000円(一口)だけを納入していただいても結構です。

もし、ご賛同をいただけるのであれば、年度会費と寄付金を合わせて15,000円を納入していただければ、大変、助かります。

振込先を記入した郵便振替口座用紙を同封させていただきましたが、銀行振込をされる場合は下記の口座をお願いいたします。

銀行口座 三菱UFJ銀行 東中野支店(店番152)
普通預金・口座番号 1559256 口座名・公認会計士法友会
<連絡先> 〒169-0074 東京都新宿区北新宿4-19-15 正和ハイツ
公認会計士法友会事務局
080-8886-0375 / hosei.hoyukai@gmail.com

Books!

書籍の出版情報を事務局までお寄せください。会報に掲載いたします。その際に、執筆者からの一言(書籍の宣伝でもOK)も併せてお願いいたします。

※書籍寄贈中止のお願い

会計大学院(イノベーション・マネジメント研究科アカウントング専攻)の廃止に伴い、書籍を開架しておく場所が無くなってしまいました。新しい場所が見つかるまで、書籍の受入は中止させていただきたく、お願いいたします。この場合でも、出版情報は引き続き掲載したいと思っておりますので、お寄せいただきますよう、お願いいたします。